

いわて復興だより

がんばろう!岩手 つなごろう!岩手

第175号
令和3年7月号



三陸復興

平成23年3月11日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にし、復興のステージを更に前に進めていく岩手県の今を紹介します。

開催

令和3年度第1回いわて復興未来塾 開催

宮古市

MIYAKO

令和3年7月4日(日)、「震災10年。なりわいの再生と挑戦」をテーマに、令和3年度第1回いわて復興未来塾～沿岸報告会～が宮古市で開催され、約50名が参加しました。

午前中の「復興現場見学会」では、盛岡市からの参加者36名が、三陸鉄道の鶴住居駅から宮古駅区間の震災学習列車に乗車しました。「3.11 あの日を語り継ぐ大切な人に想いを寄せて」というメッセージが記されたラッピング列車に乗り込んだ参加者は、三陸鉄道の旅客営業課長・山野日真さんと物産課長・二橋守さんが語る、東日本大震災津波当日の様子や避難行動の重要性などの解説に熱心に耳を傾けながら、復興の進む街並みを車窓から視察しました。



三陸鉄道ラッピング列車



震災学習列車内の様子

午後は、宮古市地域創生センター(うみマチひろば)を会場に、みやこハーバーラジオの放送担当室長・箱石文彦さんの司会進行で、「事例報告会」が行われました。

山田町の株式会社尾半ホールディングス代表取締役社長・間瀬慶蔵さんは、多くの支援を受けながら復興してきた様子を写真で振り返りながら、町の中心部に昨年、飲食店などを開業したことに触れ、津波浸水区域



司会の箱石さん



間瀬さんの発表の様子

の空き地の利活用など、今後の課題を挙げました。

宮古市の浄土ヶ浜旅館の女将・山根千春さんは、三陸鉄道リアス線、宮古盛岡横断道路や三陸沿岸道路などの交通アクセスの向上による観光面への効果や地場の魅力的な食材を活用した瓶ドンなどのおもてなしの取組を紹介しました。

宮古市産業振興部水産課の課長・佐々木勝利さんは、「水産業の未来を切り拓く取り組み～つくり育てる漁業の推進プロジェクト～」として、市が新たに取り組みを進めているトラウトサーモンやホシガレイの養殖事業を紹介しました。

知事からは、「事業再建に当たっての“地元の底力”や観光振興に関しての“様々なつながりの力”が“復興の力”になる。より良い復興(ビルド・バック・ベター)の取組には、養殖事業のような研究開発という要素も非常に重要になる。」とコメントがありました。

報告会終了後、盛岡市からの参加者は、今年3月に全線開通した宮古盛岡横断道路の利便性を体感しながら帰路につきました。

事例報告会の様子は、動画配信サイトに掲載されますので、ぜひご覧ください。

■問い合わせ

岩手県復興防災部復興推進課

☎ 019-629-6945



山根さんの発表の様子



佐々木さんの発表の様子

総括コメントを述べる
達増知事

動画配信サイトは↑
こちら

いわてまるごと応援団(員)
大募集! 登録無料

知って、買って、食べて、行って応援!



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員(個人)と応援団(法人及び団体)の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取組や観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

いわてまるごと応援団

検索

開所

県立野外活動センター 開所

陸前高田市
RIKUZENTAKATA

県立野外活動センター

令和3年7月1日(木)、東日本大震災津波で全壊した県立野外活動センター(愛称:ひろたハマラインパーク)が、陸前高田市広田町の高台に移転新築し、全施設の供用を開始しました。

7月11日(日)には開所式が行われ、達増知事ら関係者によるテープカットや陸前高田市立広田小学校の児童による郷土芸能が披露され、開所を祝いました。

センターは、約9万6千㎡の敷地に、200人が宿泊できる宿泊棟や体育館、テニスコート、運動広場などを備えています。海での体験活動やスポーツ合宿といった従来の機能に加え、避難所開設ゲームの体験や近隣の震災遺構・伝承施設見学など、復興・防災教育の機能も新たに備えた施設となっています。

■問い合わせ 岩手県立野外活動センター

☎ 0192-22-9800

利用申込についてはこちら➡



開通

三陸沿岸道路「田野畑南～尾肝要」間が開通

田野畑村
TANOHATA

開通式(テープカット及びくす玉開披)の様子(写真提供:三陸国道事務所)

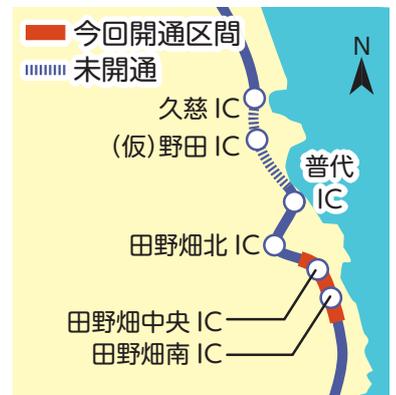
令和3年7月10日(土)、復興道路 三陸沿岸道路のうち「田野畑南～尾肝要」間(延長6km)が開通し、普代村から宮城県仙台市までの約283kmが自動車専用道路で結ばれました。

今回の開通により、三陸復興国立公園の北山崎や鶴の巖断崖などへのアクセスの向上による観光振興のほか、新鮮な水産物や乳製品の販路拡大など、地域経済の活性化等が期待されます。

■問い合わせ

岩手県県土整備部道路建設課

☎ 019-629-5866



世界へ、未来へ いわてTSUNAMIメモリアル

東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」(いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル)を紹介します。

令和3年6月21日(月)、高田松原津波復興祈念公園で、地震による津波を想定した避難訓練が行われました。

この避難訓練は、伝承館を含む公園施設関係職員16名が参加し、7月17日(土)の高田松原海水浴場の11年ぶりの海開きを前に、利用者の避難誘導時の課題を確認するため、フィールドワーク形式で行われました。5つのグループに分かれた参加者は、震災遺構のタピック45(旧道の駅高田松原)、防潮堤下の海側、奇跡の一本松など、それぞれ異なるスタート地点・経路で、陸前高田市の指定避難場所である気仙小学校を目指しました。

参加者からは、課題として「避難を促す看板や避難経路図が分かりづらい」、「街灯が少なく、夜間や冬期間の避難が難しい」、「外国人や高齢者など様々な立場の避難者を想定した訓練も必要」などの意見が挙げられました。

東日本大震災津波伝承館では、今回の訓練で見つかった課題を踏まえ、今後関係機関と協力しながら、様々な事態を想定した訓練を重ね、来館した皆さんの安全の確保を図っていきます。

■問い合わせ 東日本大震災津波伝承館

☎ 0192-47-4455



避難経路の課題を探る参加者の様子(写真提供:東海新報社)



避難場所に続くスロープを上げる参加者の様子(写真提供:東海新報社)

開催

普代水門で震災学習ツアー開催

 普代村
 FUDAI

令和3年6月13日(日)、普代村は、東日本大震災津波から村を守った普代水門等を見学する震災学習ツアーを開催し、洋野町大野の児童ら28名が参加しました。

震災10年目の今年4月に普代村が発行した津波伝承絵本『普代村を守った奇跡の水門』を教材に学習したほか、実際に水門に上り、15.5メートルという高さを体験し、その水門を軽々と超えた巨大津波の恐ろしさを実感しました。

普代村では、今後も、普代水門での震災学習に加え、普代浜園地キラウミなど村内の様々な観光資源と組み合わせたツアーを行い、東日本大震災津波の教訓の伝承と村の魅力を発信します。ツアーを希望する方は電話でお申し込みください。

■問い合わせ 普代村政策推進室 ☎ 0194-35-2114



震災学習ツアーでの普代水門見学の様子(写真提供:普代村)

発行

いわて復興支援感謝パスポート発行

 全国
 ALL AREA

令和3年7月、岩手県では、「いわて復興支援感謝パスポート」を発行しました。

これは、東日本大震災津波から10年の節目を迎え、全国から寄せられた復興支援への感謝の気持ちと復興状況をお伝えしながら、沿岸13市町村の飲食店や宿泊施設など100軒を特典付きでご利用いただける冊子です。岩手県沿岸部の特産品が当たるスタンプラリーも実施しています。

令和4年3月22日(火)までの有効期限で、県外の岩手県のアンテナショップや岩手県事務所のほか、県内沿岸市町村の観光協会等で無料配布しています。

この機会にぜひ、岩手県沿岸部にお越しいただき、復興に力強く取り組んでいる地域の姿をご覧ください。

■問い合わせ 岩手県商工労働観光部
観光・プロモーション室
☎ 019-629-5574

復興支援感謝パスポート動画はこちら↑



さんりくイベント情報

三陸で

「養殖いかだ見学 + オランダ島体験」

漁師の案内で、山田湾に浮かぶカキやホタテの養殖イカダを船上で見学した後、エメラルドグリーンの海に囲まれた無人島「オランダ島」に上陸して過ごすことができます。東北デスティネーションキャンペーン特別企画でホタテの試食と山田のおやつが付いてきます。

- 開催時期** 令和3年9月末まで
所要時間 約2時間
料金 1グループ4名まで16,000円
 ※5名以上の場合、
 1名につきプラス4,000円
予約 催行日7日前まで
問い合わせ 一般社団法人山田町観光協会
 ☎ 0193-65-7901

 山田町
 YAMADA


オランダ島の海(写真提供:山田町観光協会)

夏いわて

さんりく海日和キャンペーン 2021 開催中

岩手県沿岸広域振興局では、「夏いわてさんりく海日和キャンペーン2021」シールラリーを開催しています。

公式HPや各地で配付のチラシ等に掲載の参加店で1,000円(税込)以上のご利用につき、シール1枚を贈呈します。シールは全部で3種類。多くの種類を集めて応募するとより豪華な景品が当たります。

さらに、Twitterで「#さんりく海日和」をつけて沿岸の写真を投稿すると、毎月抽選で特産品の詰め合わせをプレゼントします。

実施期間 令和3年7月1日(木)~9月30日(木)
実施場所 沿岸広域振興局管内9市町村

問い合わせ 「夏いわてさんりく海日和シールラリー」事務局(IBC岩手放送)
 ☎ 019-623-3131



※新型コロナウイルス感染症の影響等により、中止や内容が変更となる場合があります。予め、問い合わせ先にご確認ください。



大船渡市立 博物館

「大船渡 その海と大地」
をテーマとした展示を
行っています。

大船渡市立博物館では、大船渡市民が撮影した東日本大震災津波の様子をまとめた映像コンテンツ「荒れ狂う海～津波常習地・大船渡」を上映しているほか、明治三陸津波(明治29年)、昭和三陸津波(昭和8年)、チリ地震津波(昭和35年)の記録を常設展示しています。

また、令和3年8月22日(日)まで、特別展「津波災害からの復興～東日本大震災から10年、チリ地震津波から61年の記録～」を開催し、大船渡の復興の歩みを紹介しています。

場 所	岩手県大船渡市末崎町字大浜221-86
開館時間	午前9:00～午後4:30(入館受付は午後4:00まで)
休 館 日	毎週月曜日(祝日・休日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日) その他臨時休館日はホームページでご確認ください。
入 館 料	高校生以下：無料、一般：300円
問い合わせ	大船渡市立博物館 ☎0192-29-2161



施設外観(写真提供：大船渡市立博物館)



展示の様子(写真提供：大船渡市立博物館)



いわてさんりくびと

連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介します。第121回は**本多美紀**さんをご紹介します。



～ 感謝を届ける ～

PROFILE —— 宮古市出身。宮古市立第二中学校を卒業し、岩手県立宮古高等学校に進学。中学1年生の時、市役所新庁舎を含む複合施設の名称公募に「イーストピアみやこ」を応募して採用された。幼稚園の頃から空手を習っており、宮古高等学校でも空手道部に入部し、部活動に励む。今回、聖火ランナーに選ばれた。

聖火ランナーは、感謝を届ける機会

宮古市の鉤ヶ崎地区で生まれ育った本多美紀さんは、5歳の時に東日本大震災津波で自宅が被災し、避難所生活を送りました。

「震災のことを全て覚えているわけではありませんが、避難所生活では周囲の方々が手遊びなどをしてくれたことが印象に残っています。」

避難所で遊んでくれた方々、食事や仮設風呂を作ってくれた市職員や自衛隊員に、いつの日か感謝の気持ちを届けたい。そう思いながら成長した本多さんは、父親に勧められ、東京2020オリンピック聖火ランナーに応募しました。「震災時にお世話になった方々と、震災の4か月後に亡くなった祖父に感謝の気持ちと成長した姿を届けたい」その想いが叶い、本多さんは宮古市のラン

ナーに選ばれました。

宮古市に恩返しをしたい

令和3年6月17日、本多さんは宮古市の第一走者として、県合同庁舎から魚菜市場付近までの約200mの区間を、沿道に手を振りながら約2分かけて走りました。「最初は緊張したけれど、両親や地域の人たちが駆けつけてくれたので楽しく走ることができました。この時間を忘れないように、思い出に残るように走りました」と振り返ります。

本多さんの将来の夢は、幼稚園教諭になることです。「進学のために宮古を離れたとしても、戻ってきて幼稚園教諭として働き、自分を育ててくれた街に恩返しをしたいです」と、本多さんは笑顔で語りました。

岩手県の被害状況

令和3年6月30日現在

- 人的被害 死者：5,145人(余震、震災関連死を含む)
行方不明者：1,111人
- 建物被害(住家のみ、全半壊)26,079棟
被害状況等の詳細／義援金・寄附金の募集等

いわて防災情報ポータル

検索

皆様のご支援、ありがとうございます

令和3年6月30日現在

- 義援金受付状況 約188億350万円(98,176件)
- 寄附金受付状況 約202億4719万円(11,018件)
- いわたの学び希望基金(※)受付状況 約103億5880万円(25,733件)
※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ～希望～

約24万点の資料を検索・閲覧できます。

いわて震災津波アーカイブ

検索



いわて復興だより 第175号

令和3年7月27日発行 企画・発行／岩手県復興防災部復興推進課 ☎019-629-6945 編集・印刷／永代印刷株式会社

次回は令和3年8月30日の発行を予定しています。